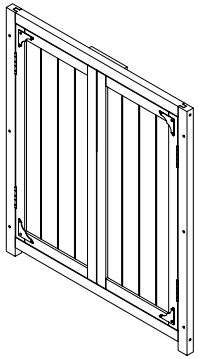
SGW-S01　木製収納庫 S　取扱説明書（お客様保管用）

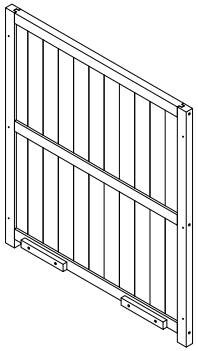
GADIS

この度は、当社の商品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本商品のご使用前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
また、お読みになった後はいつでもご覧になれるよう、大切に保管してください。

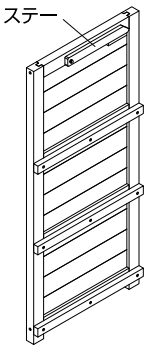
部品の確認　部品の種類と数をお確かめください。



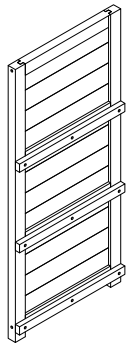
A. 前面板：1枚



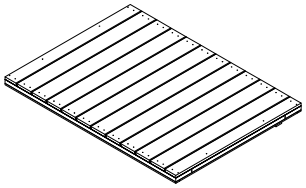
B. 背面板：1枚



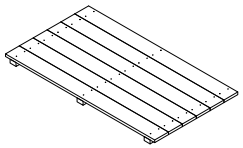
C. 側面板（左）：1枚



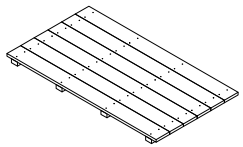
D. 側面板（右）：1枚



E. 天板：1枚



F. 棚板：1枚



G. 底板：1枚

H. 取っ手：2個

I. アジャスター：4個

J. 木ネジ（短）：8本

K. 木ネジ（中）：12本

L. 木ネジ（長）：3本

⚠ 使用上のご注意

ここに書かれた内容は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐための重要な内容です。安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

- ●商品の組み立て、施工、設置等については必ず本取扱説明書に従って行ってください。
- ●危険な場所や通行の邪魔になると思われる場所への設置はおやめください。
- ●運動具やお子様の遊具等、目的以外の使用や改造はしないでください。破損や事故の原因になります。
- ●すき間に手や指を入れないでください。
- ●床に小石や砂利の多い場所や、傾斜や段差のある不安定な場所では使用しないでください。
- ●風の強い場所、高い所に設置しないでください。強風時に倒れたり、落下すると危険です。
- ●火気の近くや高温になる場所では使用しないでください。熱の影響により、商品の変形や火災の原因になります。
- ●強い振動、衝撃のある所で使用しないでください。
- ●床にキズがつく場合がありますので、移動の際は引きずらないようにしてください。
- ●組立手順に従い、すべてのネジを確実に締めてください。ネジがゆるんだままで使用すると危険です。
  （定期的にゆるみがないか点検してください）
- ●組み立ての際は、手や指を挟まないよう十分ご注意ください。
- ●安全のため組み立ては2人以上で行ってください。　●組み立て、施工は平地で行ってください。
- ●開閉の際は、手や指を挟まないよう十分ご注意ください。
- ●確実に開いたことを確認の上、ご使用ください。不完全な状態で使用されると破損や事故の原因となり危険です。
- ●人が乗ったり、座ったり、よりかかったりすることのないように十分ご注意ください。ガタツキや転倒の原因となり危険です。
- ●防犯上、不審者の侵入が容易になるような場所への設置は避けてください。
- ●完全な防水性能はございません。ご使用の際は、軒下など直接雨のかからない場所に設置してください。
- ●水はけの悪いと思われる場所への設置はおやめください。
- ●強風時や暴風時には、転倒防止対策を行ってください。
- ●1カ所に強い荷重がかからないように十分ご注意ください。ガタツキや破損の原因となります。
- ●転倒防止のため、重いものは下段に置いてください。安定性が増します。
- ●天然木は風化してささくれ等ができる場合がありますので、ご注意ください。
- ●樹液が出る場合がありますので、衣類など汚さないようご注意ください。特に汗など水分を含んだ衣類は汚れが付着する恐れがあります。

品　番	材　質	外形寸法（mm）	耐荷重（※1）
SGW-S01	天然木 （表面処理 / オイル仕上げ）	約 幅750×奥行き550×高さ865	F. 棚板　15kgまで G. 底板　60kgまで

（※1）1枚当たりの均等荷重合計です。この値は実測値であり、保証値ではありません。

◆部品の形状、仕様等が、出荷時期によって、予告なく若干変更される場合があります。ご了承ください。
◆ご不要になった商品は、地域の条例等に従って正しく処分してください。

MADE IN CHINA

株式会社タカショー
本社 〒642-0017 和歌山県海南市南赤坂20-1
TEL. 073-482-4128（代）　FAX. 073-486-2560（代）

お客様サービスセンター
通話料無料　0120-51-4128（こいよいにわ）
受付時間/月～金　AM9:00～PM5:00（祝日は除く）

ご理解ください

●この商品は一般家庭での使用を目的としたものです。公共の場での使用はご遠慮ください。
●本商品は天然木製品です。紫外線などさまざまな理由により、塗装の変色、劣化が進みます。
●同じ材質の木部材でも、成長の場所や過程の違いで少しずつ変化が起こるため、仕上がり後の色調や、色の濃さに違いが生じます。
●金属部分については保護処理を行っていますが、素材の性質上、サビや劣化、退色は避けられません。
●製造は十分に乾燥させた材料を使用して行っていますが、木目の入り方や、湿気、紫外線などによる経年変化により、曲がり、反り、割れが生じることがあります。
●屋外で使用される際、紫外線などにより劣化が進みますので、定期的にメンテナンスすることをおすすめします。また破損、割れが確認された場合、事故防止のため、処分してください。（地域の条例等に従って正しく処分してください）
●ハンドメード商品のため、色および形状等がバラつく場合があります。
●天然素材のため、においがすることがあります。
●気候条件、設置条件により変色、変質、カビ、または割れが発生することがあります。

定期点検・お手入れ時のご注意

汚れを落とすとき

●日常のお手入れは、乾いたやわらかい布でからぶきしてください。
●著しい汚れを落とす場合は、うすめた中性洗剤を使用してください。

メンテナンスについて

●安全のため、定期的にガタツキがないか確認してご使用ください。
●木部表面が変色したり、割れの原因となるため、濡れたときは速やかにふき取ってください。
●雨、湿気、紫外線により商品から樹液、ヤニが流れ落ちる場合があります。樹液、ヤニが出たときは、乾いた布でふき取るか、乾燥して硬くなってからサンドペーパーなどで磨いてください。
●塗装される場合は、その塗料の使用説明に従って、風通しの良い場所（屋外など）で換気に注意して作業を行ってください。
●塗装をする際は、ゴミ、汚れなどを落としてください。
●長くお使いいただくためには、定期的なメンテナンスをおすすめします。
●安全のため、定期的にネジにゆるみがないか確認してご使用ください。

木製部分のお手入れ方法例

ご用意いただく物
木材保護塗料、ハケ、サンドペーパー、ふき取り用布、新聞紙

1.まず、濡れ雑巾などで表面をふき、ドロや汚れ、ホコリなどを落としてください。
2.表面や角のささくれ等は、サンドペーパーで研磨し、できるだけ滑らかに調整してください。
3.表面が乾燥したら、1回目の塗装をハケなどで行って、乾燥させます。
4.2回目の塗装をハケなどで行った後、布などで表面にすり込みます。
5.細かいサンドペーパーで仕上げの研磨を行い、必要に応じて保護塗料を少し染み込ませた布でふきあげてください。
6.塗装後、1日以上乾燥させてください。
※オイル仕上げをほどこしておりますが、半年に1回（お住まいの環境によって異なります）は市販の木材保護塗料等を上塗りすることをおすすめします。
※お手入れ用塗料に関しては、ホームセンターなどでお問い合わせください。
※塗装を行うときは周囲が汚れないように新聞紙で覆うなどして作業を行ってください。
※詳細な塗装方法についてはご使用になる塗料の取扱説明書に従って、風通しの良い場所（屋外など）で換気に注意して作業を行ってください。

組立方法

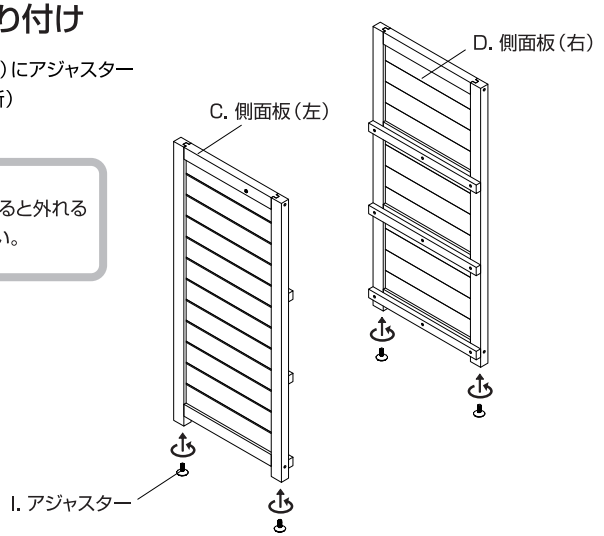
※必要工具:手締め用のドライバーまたは電動ドライバーをご用意ください。
※平坦な場所で、空き箱を下に敷いてから組み立てるとキズがつきません。

① アジャスターの取り付け

側面板・左（C）、側面板・右（D）にアジャスター（I）を取り付けます。（計4カ所）

⚠ ご注意

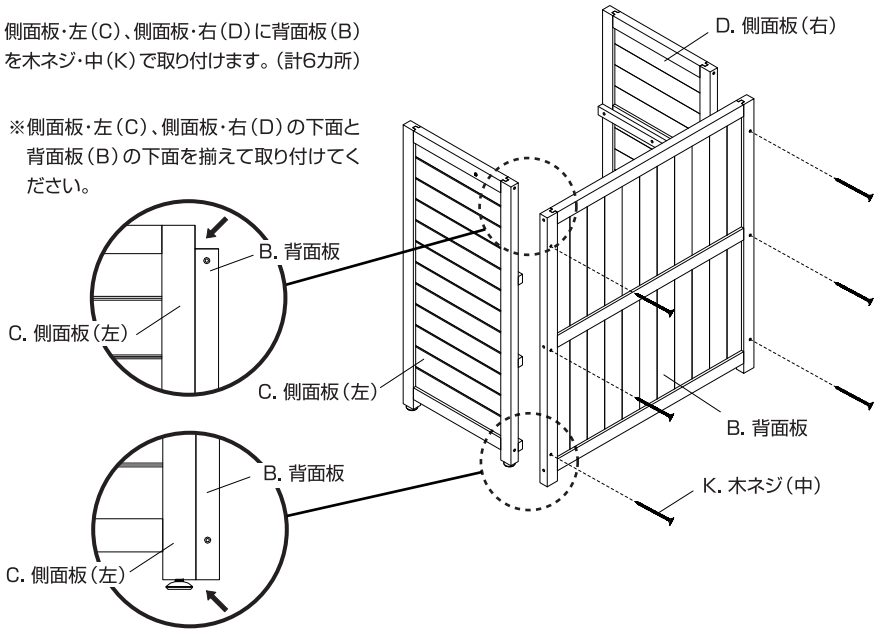
アジャスター（I）を伸ばしすぎると外れる恐れがあります。ご注意ください。



② 側面板、背面板の取り付け

側面板・左（C）、側面板・右（D）に背面板（B）を木ネジ・中（K）で取り付けます。（計6カ所）

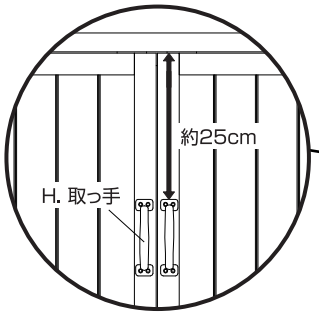
※側面板・左（C）、側面板・右（D）の下面と背面板（B）の下面を揃えて取り付けてください。



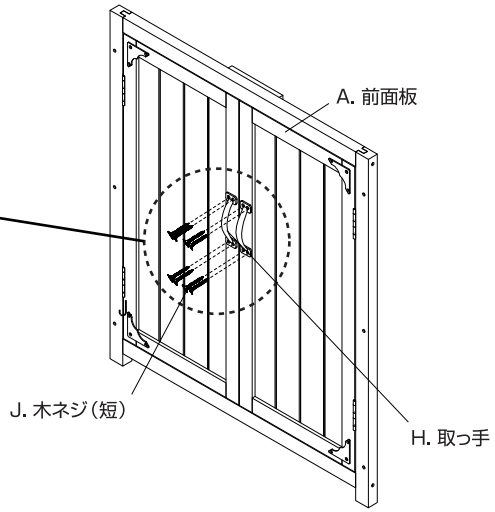
組立方法

③ 取っ手の取り付け

前面板（A）に取っ手（H）を木ネジ・短（J）で取り付けます。

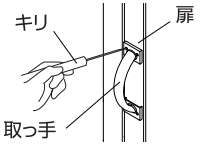


※取っ手（H）は扉正面の上から約25cmの位置に取り付けます。



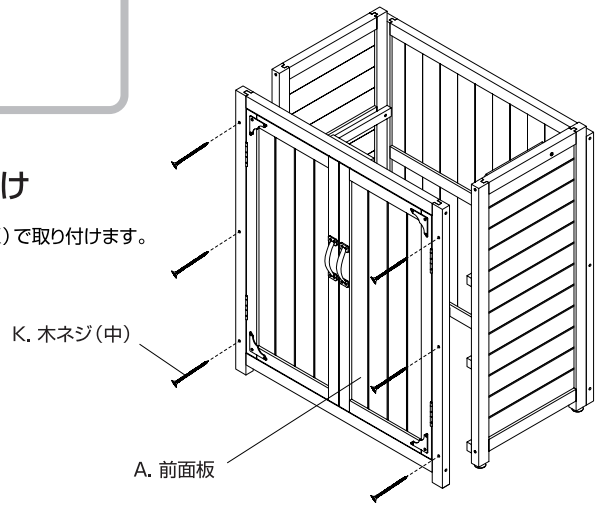
ポイント

取っ手（H）を取り付ける際は、キリなどで下穴をあけると木ネジ・短（J）が取り付けやすくなります。



④ 前面板の取り付け

前面板（A）を木ネジ・中（K）で取り付けます。
（計6カ所）



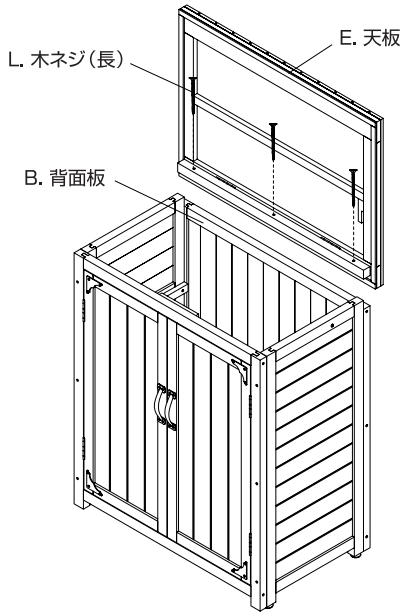
組立方法

⑤ 天板の取り付け

天板（E）を木ネジ・長（L）で取り付けます。
（計3カ所）

ご注意

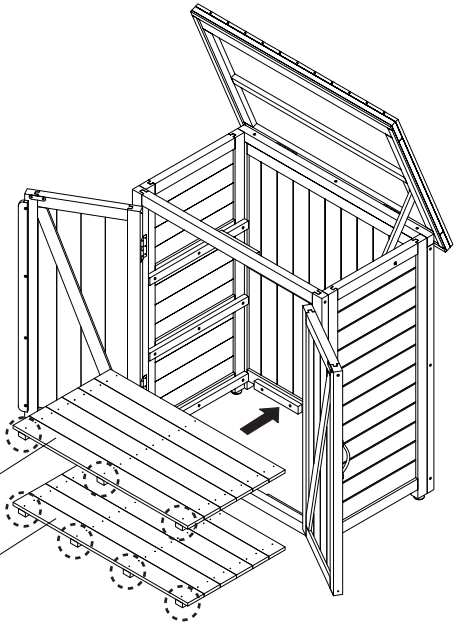
※背面板（B）の上部くぼみに天板（E）の部材を入れてください。
※取り付け時、天板（E）が動く場合があります。天板（E）を支えながら木ネジ・長（L）で取り付けてください。



⑥ 棚板、底板の取り付け

棚板（F）、底板（G）を取り付けます。
※棚板（F）は用途に合わせて中段、下段のどちらかに取り付けてください。

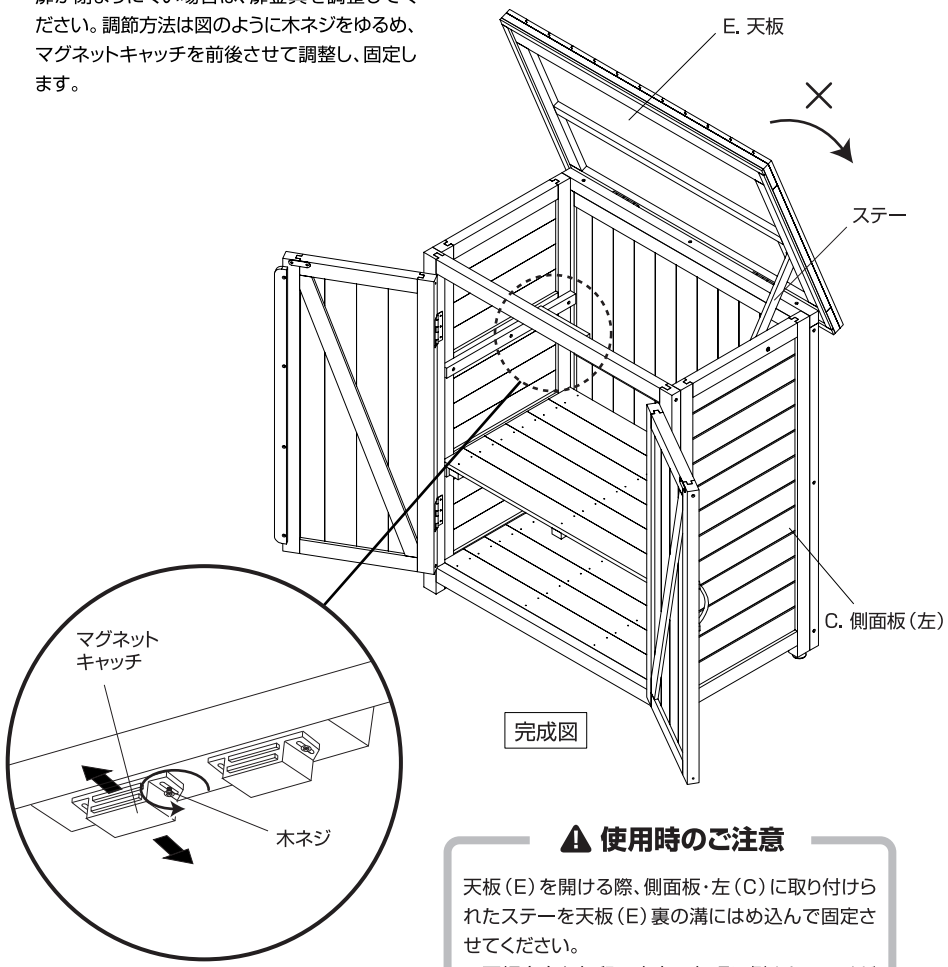
ガタツキがないか確認の上、ご使用ください。
※ガタツキが見られる場合、アジャスターで調整してください。



組立方法

7 マグネットキャッチの調整

扉が閉まりにくい場合は、扉金具を調整してください。調節方法は図のように木ネジをゆるめ、マグネットキャッチを前後させて調整し、固定します。



完成図

⚠ 使用時のご注意

天板（E）を開ける際、側面板・左（C）に取り付けられたステーを天板（E）裏の溝にはめ込んで固定させてください。

※天板（E）を矢印の方向へ無理に倒さないでください。破損や事故の原因になります。

※開閉の際は手や指を挟まないよう十分ご注意ください。